

6 福岡藩蔵屋敷長屋門

大阪市天王寺区茶臼山町(天王寺公園内)

- ▶ 筑前福岡藩(藩主は黒田氏)52万石の蔵屋敷が、現在中之島三井ビルのあるあたりにありました。
昭和8年(1933)、三井ビルの建設にあたり、福岡藩蔵屋敷長屋門の建物が大阪市に寄贈され、この地に移されました。今でも見ることができる貴重な史跡です。
幕末の福岡藩は基本的に佐幕の考えでしたが、桜田門外の変以降、尊攘路線への転換を求める建白書を提出し、加藤司書、月形洗蔵ら勤皇指導者ら6名は流罪となりました。これを辛酉(しんゆう)の変といいます。
その後、薩摩藩、肥後藩と連合して公武合体路線を推進し、5卿を大宰府に受け入れました。
慶応元年(1865)2月、佐幕派から勤皇派に政権が変わり釈放された加藤司書らが重職に就きます。しかし、それも束の間、6月に保守派が巻き返し、10月に勤皇派の弾圧があり、加藤ら7名が切腹、月形ら14名は斬首、野村望東尼ら15名は流刑という処分になります。これを乙丑の獄といいます。
王政復古の大本営の後、勤皇派を処分した責任で佐幕派の3家老が切腹しました。



福岡藩蔵屋敷長屋門



7 第6代大阪市長 池上四郎像

大阪市天王寺区茶臼山町(天王寺公園内)

- ▶ 池上四郎は、会津藩の下級武士の子として安政4年(1857)に生まれました。
藩校 日新館で就学中、慶応4年(1868)8月、戊辰戦争により会津若松城が新政府軍に包囲されます。池上四郎は「白虎隊」の募集に応募しますが、当時12歳であったため入隊が許可されませんでした。
敗れた会津藩は朝敵の汚名を着せられ、下北半島にある斗南藩3万石に移封されます。池上四郎も新天地に行きますが、貧困に耐えながら親の面倒を良く見たそうです。
明治7年(1874)、池上は職を求めて上京しますが、会津藩出身ということでなかなか職に就けませんでした。巡查の募集に応募し、やっと職に就けたと思ったら、まわりは薩摩藩の出身者ばかりでした。それでも、必死で勉強を積み、明治28年(1895)に神田警察署長、翌年には麴町警察署長に就任しました。
そして、明治34年(1901)、西郷従道に目をかけられ大阪府警察部長に栄転を果たしました。池上はここで14年間勤め、大正2年(1913)、第6代大阪市長に就任しました。
就任の翌年の大正3年(1914)、飲料水確保のため柴島(現 大阪市東淀川区)に水源地を創設。同4年(1915)には天王寺動物園の開園。同7年(1918)、公設市場の設立など数々の功績を残しました。後継者の育成も見逃さず、関一を市長就任時から育てていました。関は池上の後を継ぎ第7代大阪市長に就任しています。

池上四郎の銅像は、大阪市政70周年を記念して昭和34年(1959)6月に建立されました。



池上四郎の銅像

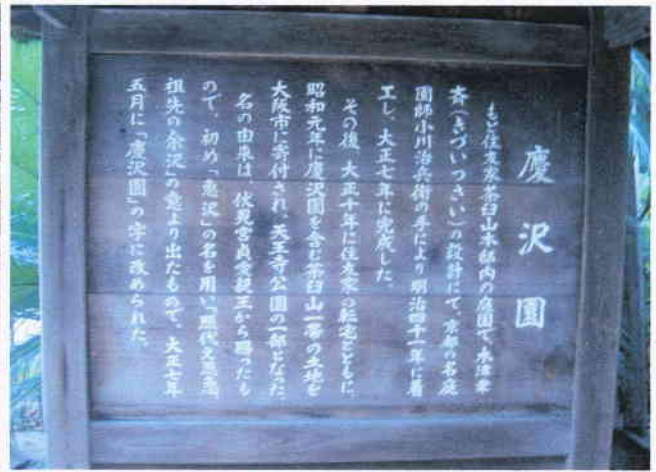


8 慶 沢 園

大阪市天王寺区茶臼山町(天王寺公園内)

- ▶ 福岡藩蔵屋敷長屋門のすぐ隣にある庭園を慶沢園といいます。明治期、このあたりは住友吉左衛門の邸があり、慶沢園は住友家の庭でした。明治41年(1908)、庭師 小川治兵衛によって作られた庭で、伏見宮貞愛親王が命名しました。大正10年(1921)、大阪市に寄贈されています。





＜小川治兵衛(おがわ じへい)＞ (1860～1933)

京都府乙訓郡神足村生まれ。明治10年(1877)に植治(小川家)の養子になり明治12年(1879)に七代目小川治兵衛を襲名しました。庭師として代々小川治兵衛を襲名し、継承され続け現在は11代目が活躍中です。

7代目の小川治兵衛が有名で、山県有朋邸(無鄰庵)、西園寺公望邸(清風荘)、平安神宮、円山公園、市田弥一郎邸(對流山荘)といった国定名勝指定庭園を作庭しています。また、住友家、三井家、岩崎家、細川家、古河家(現東京都田古河庭園)等の庭園を作庭しました。藤田小太郎邸(現洛翠)、並河靖之邸(現並河靖之記念館)、稲畑勝太郎邸等の庭園も作庭し、その他各都市の名勝及び文化財指定庭園を作庭する活躍を見せました。



9 会津藩士墓所

大阪市天王寺区逢阪2-8-69(一心寺)

- ▶ 一心寺に白井五郎太夫ほか12名の会津藩士の墓があります。白井五郎太夫(胤忠)は、林 権助とともに会津藩砲術師範 山本覚馬から砲術を学びました。鳥羽・伏見の戦いに大砲隊頭として鳥羽街道を進み、勝ちに乗じて前進してくる西軍に対し、弾丸の下をくぐって戦い、別選隊の援助を得て西軍を撃退しました。翌日、白井は隊を率いて戦いましたが銃弾に当たって負傷、診療先の淀で死去します。享年37。一心寺にある白井五郎太夫の墓は、子の白井新太郎によって建立されました。白井五郎太夫のほかには、白井隊の小池勝吉、林 権助隊の高橋金兵衛、大本左門など鳥羽伏見の戦いで死者の墓碑があり、年々法要をされています。

一心寺には多数の墓碑があるため、探すのに苦労すると思いますが、会津藩士の墓所は比較的わかりやすいところにあり、一心寺の正門に入って左手すぐのところにあります。





白井五郎太夫の墓



白井隊の小池勝吉の墓



林 権助隊の高橋金兵衛の墓



林 権助隊の大本左門の墓



10 戊辰・伏見之役 東軍戦没者招魂碑 大阪市天王寺区逢阪2-8-69(一心寺)

▶ 戊辰戦争で戦死した徳川方の武士の魂を祀るもので、明治31年(1898)6月、在阪の旧幕臣の人たちによって建てられたものです。



碑の裏面



「大坂の史跡を訪ねて」次回もご期待ください